



町国際交流員の曲さんが退任

「短くも濃い1年間」と活動振り返る

町国際交流員として令和5年4月から勤務した曲驊(キョク・テイカ)さんが4月9日、任期満了を迎えました。曲さんは退任に当たり「短くも濃い1年間だった。人情味にあふれる平泉が好き」と語りました。

役場で行われた辞令交付式で、曲さんは「イベントなどを通じ、町民の皆さんとたくさん交流できた」と振り返り、曲さんに感謝状を贈った青木町長は「翻訳の活動など、さまざま活動いただいた」とねぎらいました。



一日も早い復興を

戸河内自治会、能登半島地震受け義援金

戸河内自治会(会長・千葉正一第3行政区長)は3月25日、能登半島地震の被災地への義援金を、日本赤十字社町分区長を務める青木町長に寄託しました。

同日は千葉区長が役場を訪れ、義援金を青木町長に手渡し「ささやかだが役立てていただき、一日も早い復興を祈っている」と語り、青木町長は「皆さんの思いを現地の人たちにしっかりと届けたい」と感謝を伝えました。



大きな声で火災予防を誓う

長島少年消防クラブに新1年生9人入団

長島小学校の全児童で構成する長島少年消防クラブの令和6年度入団式は4月17日、同校で行われ、新1年生9人が火災予防を誓いました。

全校児童や来賓合わせて約100人が出席。1年生を代表して山田蒼太さん(写真中央)が、一関西消防署の原田幸司署長から、クラブ員の証しのバッジと手帳を受け取りました。その後、児童全員で「火遊びなど絶対しません」などと大きな声で宣誓しました。



子どもたちが農業を知る一助に

いわて平泉農協から小学生向け副読本

町教育委員会は4月3日、いわて平泉農協から、小学生向けの副読本2種類の寄贈を受けました。町内の小学4、5年生に配布されます。

佐藤一則代表理事専務が役場を訪れ、吉野教育長に副読本を贈呈。佐藤専務は「農業人口が減る中、食農教育を通じて子どもたちに農業について知ってほしい」と期待し、吉野教育長は「子どもたちが農業への理解を深められるよう活用したい」と語りました。

期待を胸に新たな一歩

町内の小中学校で入学式

町内の小中学校で4月、入学式が行われました。平泉小に34人、長島小に9人、平泉中に48人が入学し、新入生たちは期待を胸に新たな一歩を踏み出しました。【16ページに関連】

このうち平泉小学校(大森亘校長、児童254人)では、大森校長が「『あいさつ』『歩く』『安全』の3つの『あ』を守って頑張りましょう」と式辞。新入生は担任からの呼名に、元気いっぱい返事をしました。



町地域おこし協力隊 Vol.10 ひらいずみ活動通信

都市部から町内に移住した地域おこし協力隊員による連載「ひらいずみ活動通信」。今回は、4月に新しく着任した東京都出身の宮平聖太さんが担当します。



昨年12月に「エピカ」で開催した音楽フェス

イベントを通じて平泉を盛り上げます！

本年度、地域おこし協力隊に着任しました宮平聖太です。

私の地域おこし協力隊のミッションは、イベントを通して平泉町がさらに盛り上がっていく活動をしていくことです。

町民の皆さんに楽しんでいただけるようなイベントをいろいろと考えております。また、ダンスや楽器をやっている学生の発表の場も作ってできればと考えています。

趣味でギターを弾いたりしていますので、私も平泉町で楽しんで活動していきます。よろしくお願いします！



みやひら しょうた
宮平 聖太さん



事故防止に向け、活動に取り組む

町交通指導員10人に委嘱状を交付

町交通指導員への委嘱状交付式を4月9日、役場で行いました。交通指導員は関係機関・団体と連携し、町内での交通事故防止や交通安全の意識高揚に向けて取り組みます。

青木町長が隊員10人に委嘱状を手渡し「安全な町のため皆さんの活動は欠かせない」と協力を求め、指導員で編成する町交通指導隊の隊長を担う千葉慶信さんは「事故が発生しないよう活動を継続したい」と語りました。